

株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 基準日 毎年3月31日（中間基準日 9月30日）
（そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。）
3. 定時株主総会 毎年6月下旬
4. 公告の方法 電子公告の方法により行います。
但し、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL <https://www.nagahori.co.jp/>
※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

5. 株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日 9:00～17:00） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取請求 ・住所、氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定（※） ・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	特別口座 の 口 座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日 9:00～17:00） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

（※）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

6. 1単元の株式の数 100株

ウェブサイトのご紹介

www.nagahori.co.jp

上記ウェブサイトでは最新情報をお届けしております。

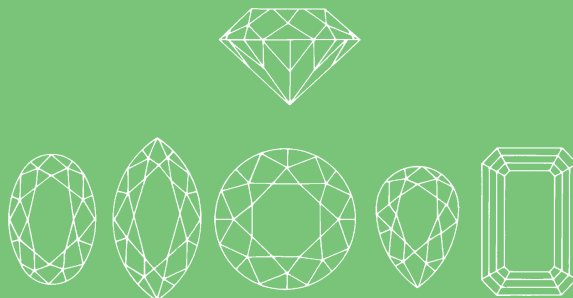


NAGAHORI CORPORATION
www.nagahori.co.jp

第63期

中間報告書

令和5年4月1日～令和5年9月30日



株式会社 ナガホリ

www.nagahori.co.jp

証券コード：8139

株主の皆様へ



代表取締役
社長

長堀 慶太

1. 連結経営成績

当中間期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として行われてきた入国者の水際対策が4月に解除となり、感染法上の位置づけが5類に移行され、訪日外国人旅行者が増加するなど、景気回復への動きが進んでいます。しかしながら、円安による国内物価の高止まり、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましても、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたことで外出機会が増加し、個人消費は持ち直しの動きがみられました。一方、円安や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等のジュエリー商品への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。商品力強化のためオープンした「メゾン ド ナディア」の路面店や「スカヴィア」の帝国ホテル東京本館1階店舗での営業展開や、新たに獲得した名古屋地区の百貨店店舗事業による販売増に注力しました。また、財務の安定のため当座貸越契約を継続し、販売増につながる商品仕入や販売催事や自社ブランドの広告等への支出により販売強化を図りました。もう一方で、旺盛な海外需要への対応等による販売増、グループ内での販売商品製造強化や地金製品販売、小売店舗販売などグループ子会社各社における販売増加など、概ね好調に推移しました。

その結果、当中間期の売上高は105億40百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益4億29百万円（同 243.6%増）、経常利益4億27百万円（同 224.9%増）となりましたが、リ・ジェネレーション株式会社その他の複数の株主らが、ほぼ同時期に当社株式を急速かつ大量に買い集めている状況に関連する株主対応等に係るアドバイザー費用1億41百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益1億92百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失85百万円）となりました。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第63期中間期（令和5年4月1日から令和5年9月30日までの第2四半期累計期間）の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

2. 連結財政状態

（資産）

当中間期末の総資産は250億60百万円となり、前年度末に比べ8億86百万円の増加となりました。

流動資産は178億92百万円となり、前年度末に比べ6億70百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金が2億58百万円、商品及び製品が5億65百万円、原材料及び貯蔵品が3億93百万円それぞれ増加し、現金及び預金が8億62百万円減少したことによります。

固定資産は71億67百万円となり、前年度末に比べ2億16百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が76百万円増加したことによります。

（負債）

負債は127億28百万円となり、前年度末に比べ6億82百万円の増加となりました。

流動負債は113億77百万円となり、前年度末に比べ8億23百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3億39百万円、短期借入金が3億31百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は13億50百万円となり、前年度末に比べ1億41百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が1億57百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は123億32百万円となり、前年度末に比べ2億3百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億92百万円及び剰余金の配当76百万円によるものであります。

3. 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中国の景気失速、ウクライナ情勢の混迷や中東情勢の緊迫化、円安進行に伴う輸入物価高や地金相場の乱高下などの経済面での不安要素はありますが、昨年や一昨年も消費活動は活発になると思われず、

中期経営計画「To the next Growth」の2年目となる当期は、上期には新規販売拠点の構築等の攻めの経営を実行してまいりましたが、下期には新規ライセンス商品の投入、富裕層向け商品の充実や自社ブランド商品の拡充を図り、ナガホリグループ全体の総合力を発揮し、所期の計画を達成する所存でございます。

通期業績予測（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

売上高	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
百万円	百万円	百万円
18,000	500	300

以上、業績の概況についてご報告申し上げますが、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)	前連結会計年度 (令和5年3月31日)
科 目	金 額	
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,638,024	3,500,798
受取手形及び売掛金	3,061,981	2,803,036
商品及び製品	10,099,663	9,534,092
仕掛品	421,063	285,969
原材料及び貯蔵品	1,240,385	846,532
その他	448,548	268,264
貸倒引当金	△17,138	△16,302
流動資産合計	17,892,528	17,222,392
固定資産		
有形固定資産	5,079,675	5,003,282
無形固定資産	47,933	37,618
投資その他の資産	2,040,224	1,910,887
固定資産合計	7,167,833	6,951,788
資産合計	25,060,362	24,174,180
負債の部		
流動負債	11,377,277	10,553,598
固定負債	1,350,793	1,492,257
負債合計	12,728,071	12,045,855
純資産の部		
株主資本	12,881,448	12,765,920
その他の包括利益累計額	△549,157	△637,595
純資産合計	12,332,290	12,128,324
負債純資産合計	25,060,362	24,174,180

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自令和5年4月 1日 至令和5年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自令和4年4月 1日 至令和4年9月30日)
科 目	金 額	
売上高	10,540,328	8,533,751
売上原価	7,778,417	6,288,260
売上総利益	2,761,911	2,245,490
販売費及び一般管理費	2,332,484	2,120,496
営業利益	429,426	124,993
営業外収益	39,578	49,147
営業外費用	41,951	42,689
経常利益	427,053	131,452
特別利益	3,290	29,732
特別損失	144,957	190,035
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	285,387	△28,850
法人税、住民税及び事業税	88,954	49,719
法人税等調整額	4,061	7,266
法人税等合計	93,015	56,985
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	192,372	△85,836
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	192,372	△85,836

トピックス

JJAジュエリーデザインアワード2023 グランプリ・内閣総理大臣賞を受賞



※画像：JJAジュエリーデザインアワード2023 作品集より

日本ジュエリー協会が主催するJJAジュエリーデザインアワード2023において、当社アトリエ ドモバラの社員（渡部笑美）の作品「Dandelion fluff ～平和と挑戦～」が厳正なる審査の結果、栄えあるグランプリ・内閣総理大臣賞を受賞しました。

当社は、消費者から信頼されるジュエリー業界のトータルメーカーとして企業努力を重ねてまいります。

会社概要 （令和5年9月30日現在）

社名	株式会社ナガホリ NAGAHORI CORPORATION
本社	〒110-8546 東京都台東区上野一丁目15番3号 TEL 03-3832-8266
設立	昭和37年
資本金	53億2,396万円
グループ事業内容	貴金属・宝飾品等の輸出入、製造加工及び国内・国外販売、貸ビル事業並びに太陽光発電事業

■事業所

名 称	所 在 地	電 話 番 号
本 社	東 京 都 台 東 区	03-3832-8266
大 阪 支 店	大 阪 市 中 央 区	06-6241-5691
アトリエ ドモバラ	千 葉 県 茂 原 市	0475-34-5251

役 員 （令和5年9月30日現在）

代表取締役社長	長堀郷川尾井	慶雅文	太文彦直夫記也子樹輔道
常務取締役	白中	出	
取締役	新富	直伸	
取締役（社外）	長洲	由	
取締役（社外）	桃		
取締役（社外）	林		
常勤監査役（社外）	藤上	英亮和	
監査役（社外）	岩		
監査役（社外）	岩		
会計監査人	監査法人 日本橋事務所		